

目が覚めたとき、そこは見たこともない場所で
これは夢なんと思った



夢にしては
やりにリアルな
感触があったな

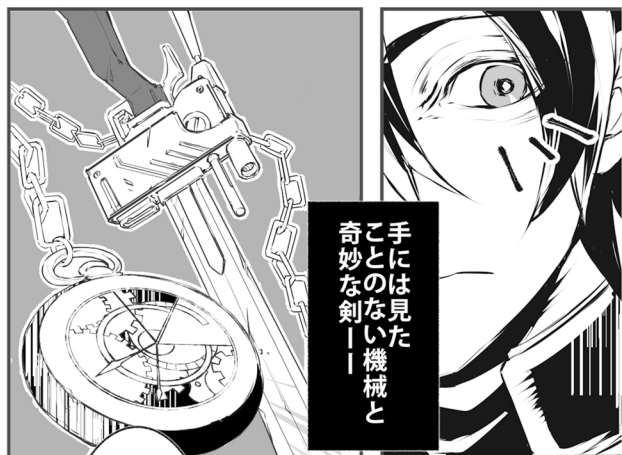
ここはー?

うっ...



その手が優しく
そして確かに
俺に触れたからだ

広大なるノインへようこそ
異世界人、歓迎するよ



手には見た
ことのない機械と
奇妙な剣ー

やっと目が
覚めたようだね



呼びかけてきた人の姿に
触られて、俺は
これが『現実』だと知る

Point

『オラクルエンジン』の舞台は
『広大なるノイン』と呼ばれる
ファンタジー世界だ



あんたみたいに
別の世界から迷い込む
異世界人がね

たまにいますのさ

異世界だって…?!

あんたにとっては
異世界ってことになるねえ

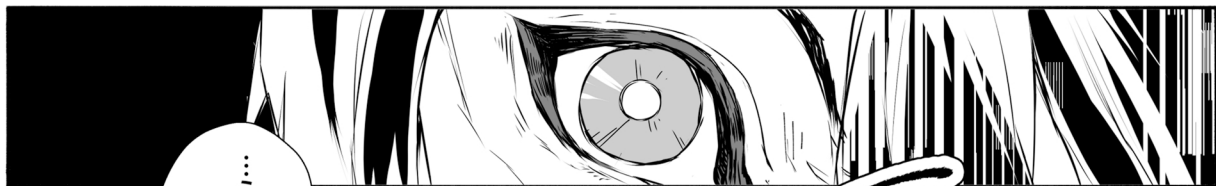
ガール！！



あ、



ここは一体どこなんだ？



…え??



ここがどこかって言うと
広大なるノインの地を
統べるノイン王国!!

そのノイン王国に迫る
脅威^{ドラグオン}墮落獣の目の前って
感じかな!?

Point

倒すべき敵である墮落獣は
様々な姿と能力を持って現れる。
ドラゴン型とは限らない。

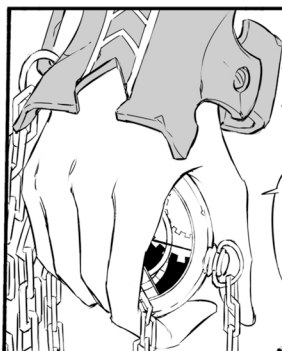


やつらを倒す鍵は
このオラクルエンジン



墮落^{ドロウ}獣はオラクルの
装甲で身を守っている
普通の武器や魔術は
全然効かない

シフト5 魔術砲



オラクルエンジンは懐中時計サイズの機械。
元は古代文明の遺物だが
コピー品の量産化に成功している。

Point



目には目
を
オラクルにはオラクル
を
って
訳
さ





今のは一体
なんだったんだ!?

さっきのはあたしの
魔術系ウェポンで
奴に魔術を叩き込んで
やったのさ

オラクルエンジンは
生体魔力で
動く仕組みなんだ



オラクルウェポンなら
墮落獣を倒す
ことができる



魔力とか…
ドラゴンとかだ
異世界みたいだ

あはは!



あたしからすれば
あんたが異世界人だよ

Point

ノイン王国には、たびたび
異世界人が現れる。
ノインの住民は異世界人の
来訪に慣れているのだ。



オラクルを受け取って増幅し
大量のエネルギーを生み出し
持ち主にオラクルを還元する

そのエネルギーを利用した
武器「オラクルウェポン」が
墮落獣への対抗手段なんだ

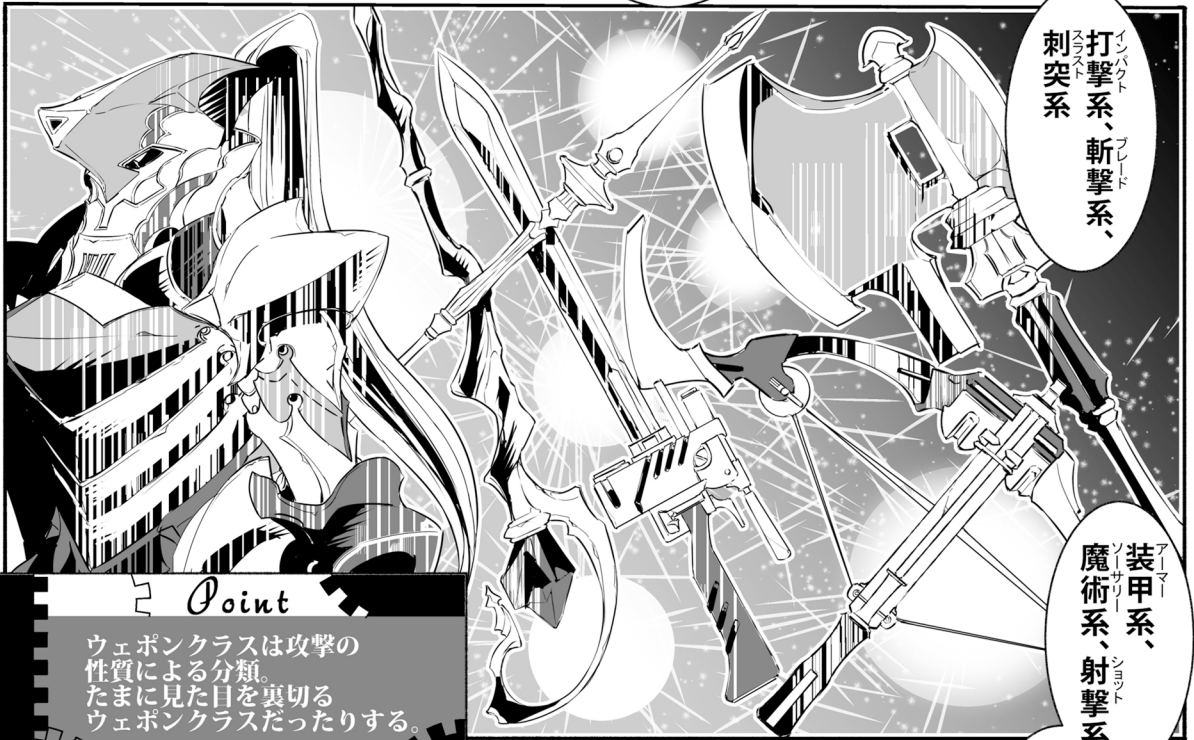


あんたも
持つてるソレ

オラクル
ウェポンは
6系統に分
されるんだ

6つ？

結局、近くの大きな
街まで案内して
もらうことになった



インパクト
打撃系、斬撃系、
突刺系

アイマー
装甲系、
魔術系、射撃系

Point

ウェポンクラスは攻撃の
性質による分類。
たまに見た目を裏切る
ウェポンクラスだったりする。

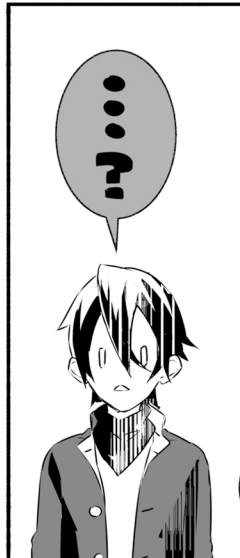
この6系統を
ウェポンクラスって
呼ぶよ



細かいこと気に
するんじゃないよ



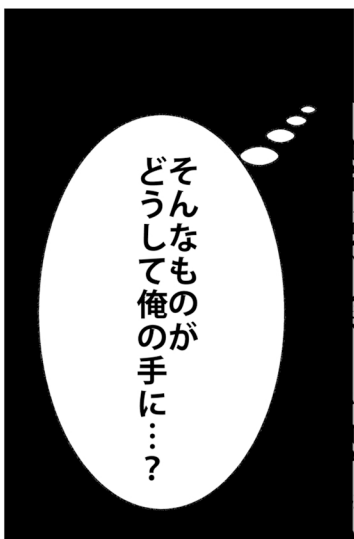
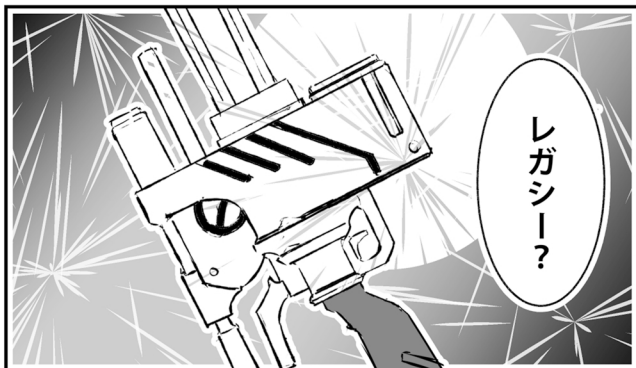
装甲系って
武器なのか…？



…？



??



Point

ノインの歴史は
「古代文明→神々と人類の共存→
破壊神の到来→人類の時代」という流れ。
古代文明には謎が多い。



オラクル
エンジン
は
オラクル
で動かす

オラクルエンジンを
動かせるってことさ



シケた顔すんなよ
あんたにも
ドライバーの素質が
きつとある！

ドライバー？



オラクルが
何かもよく
分からないのに…？

注ぎ込む…



どのくらい出力が
欲しいかイメージして、
オラクルを注ぎ込む



Point

ノインでは、よりよい成果の
ために生体魔力を使うことを
「気合を入れる」と表現する。

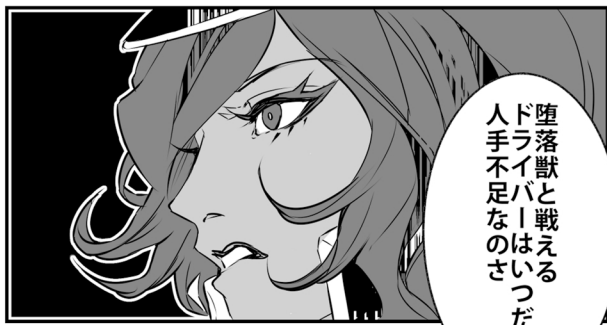


要するに、
気合！
気合だよ！！

き、気合！？

そうか…

気合、か



墮落獣と戦える
ドライバーはいつだって
人手不足なのさ



戦える力があるなら、
あたし達は務めを果す



出来ればあんたには
もらいたくないんだけどね

どうして？



それがドライバーって
生き方なんだ



さああんたはこのノインで、
どうやって生きていくんだい？

Point

【オラクルエンジン】を
より詳しく知りたければ、
無料の体験版ルールブック
をチェック！